

ちまた



熱意持ち奉仕活動

清心女子高社会福祉部

(倉敷市)

昨年十二月十七日付の本紙の国際貢献の特集記事を読んでAMDA(アジア医師連絡協議会)創立以来からの活動の様子が大変よく分かりました。私たちがAMDAのことを知ったのは、以前ルワンダ難民の状況をマスコミで報じられてからです。

あのルワンダの地で、指をくわえ、どこか物憂げな様子の子供たち。あの惨状を目をおおいたくなるといふ気持ちで見えています。その状況が報道される度に世界中の人々の悲しみは大きくなっていったでしょう。

そんな時、日本は世界の平和に貢献する国の一つとしてどのような援助ができるのか、長期間にわたって議論されてきました。しかし、AMDAは素早い対応で独自の医療、物資供給など、さまざまな面からの援助活動に乗り出しました。

それは、国家や形式にとらわれない何かとても大きな温かい力を感じられました。私たちが小さなお手伝いでしたが、ルワンダ難民救助のための募金活動に参加し、最近では阪神大震災遺児たちのための募金活動に部員一同参加しま

真の国際貢献望む

末次 賢治 29 会社員

(名古屋市中区)

報道で知ったが、岡山市に本部を置く医療ボランティア団体AMDA(アジア医師連絡協議会)が、

113

岡山県内に国際貢献大学を設立する計画を進めているという。

世界初の計画だ。世界の災害、紛争被災地で活躍できる人材の育成を目指したものとこのことである。

国際貢献といえは資金援助が目ざされやすい。が、このように人的貢献、活動による援助こそ国際貢献だと私は考えて

いる。

お金による国際貢献をして、現地の権力者や政府関係者に吸い上げられ、国民や住民へまでは、援助の手が届いていないことである。そうならば意味のないことだ。むしろ、人的派遣や技術教育の方がより良い貢献となる。

この大学は五年以内の開校を目指すとのことである。十分に設立準備をし、やがて世界へ、良き人材を輩出していただきたいと期待している。